# Information

検査 No.2014-03 平成 26 年 01 月 15 日

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申しあげます。

このたび、別掲の項目におきまして、定期的な見直しにともない検査内容の一部を変更させて頂 きたくご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申しあげます。 敬具

記

#### 変更項目および変更内容

※ 詳細につきましては、次ページ以降の内容をご参照願います。

#### 変更期日

平成26年4月1日(火)受託分より変更

## 保健科学グループー



本 社/ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661 仙台支社/ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345

中部支社/ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201 大阪支社/ 豊中市原田中 1-2-3

TEL 06-6843-5622 TEL 092-452-0851

保健科学東日本 日本ノーバメディカル研究所 いかがく

新潟臨床検査センター

組織科学研究所 ケーアイエー細胞病理研究所 カスタムメディカル研究所

遠州予防医学研究所

日本厚生団衛生科学研究所

湘南医化学検査センター

小田原衛検 相模医研

東部メディカルセンター

福岡支社/ 福岡市博多区山王 2-14-34

#### 平成26年4月1日(火)受託分より変更

項目コート゛	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書 掲載ページ		
1115	LDL-コレステロール (LDL-C)	検査試薬	《改良試薬への変更》		反応性を改善し た試薬に変更し ます。	3		
5105	ビタミンA (レチノール)	検体必要量	血清 0. 4 mL	血清 0.9 mL	定期見直しにより 変更します。	18		
		所要日数	3~6日	4~7日				
4070		検査場所 (略号)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)	エスアールエル (*4)	測定試薬に変更 はありませんが、			
4278	トキソプラズマIgG抗体	報告上限	240 以上 (IU/mL)	未設定 (IU/mL)	報告範囲の見直しを行います。			
		報告下限	1 未満 (IU/mL)	3 以下 (IU/mL)				
	トキソプラズマIgM抗体	所要日数	3~6日	4~7日		53		
		検査場所 (略号)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)	エスアールエル (*4)	測定試薬に変更 はありませんが、 報告範囲(桁数 含む)、判定結果 の解釈の見直し			
4279		報告上限	99999. 99 (cut off index)	999999. 9 (cut off index)				
		報告下限	O. 10 (cut off index)	0. 1 (cut off index)	を行います。			
		欄外	《下記をご	参照下さい 》				
4743	HCV群別	検査方法	CLEIA法	EIA法	報告表現等の変 更はありません。	74		
7370	アデノウイルス抗原	アデノウイルス抗原	検査方法	検査方法	ELISA法	EIA法	測定試薬に変更	
			デノウイルス抗原 所要日数	4~11日	3~10日	はありません。 検査方法は委託	85	
		検査場所 (略号)	エスアールエル (*4)	保健科学研究所 第2ラボラトリー (*ア)	先の表記に合わ せます。			

### ▼トキソプラズマIgM抗体:判定結果の解釈の比較

#### (変更後)

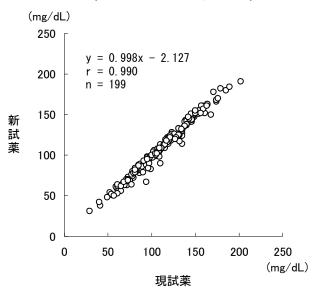
cut off index	判定	解釈
0. 80未満	陰性	最近のトキソプラズマ感染のないことが 考えられます。
0. 80~0. 99	判定保留	トキソプラズマ感染の疑いがあります。 最初の検査から少なくても3週間以降に 再検査及びトキソプラズマIgGなどの別 の検査方法による確認をお勧めします。
1. 00以上	陽性	トキソプラズマ感染があることが考えら れます。

<sup>※</sup> 判定の解釈のみを変更します。判定基準の変更はありません。

(変更前)
解釈
最近のトキソプラズマ感染のないことが 考えられます。
10~20日後に再検査およびトキソプラズマIgG抗体検査による確認をお勧めします。

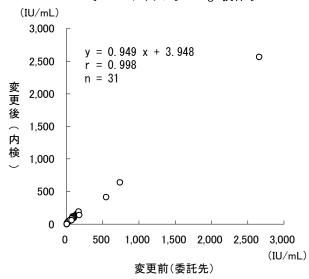
#### ▼ 現試薬と新試薬の比較

#### [ 1115:LDL-コレステロール ]



#### ▼ 検査場所の変更前後の比較

〔4278:トキソプラズマIgG抗体〕



		変	合計		
		陽性	判定保留	陰性	
亦へ	陽性	27	0	0	27
変更後	判定保留	0	0	0	0
俊	陰性	0	0	4	4
	合計	27	0	4	31

 判定基準

 陽性
 9以上

 判定保留
 6~8

 陰性
 6未満

一致率:100%

#### [ 4279:トキソプラズマIgM抗体]

(c	ut off index	<b>(</b> )					
	5.0	y = 1. r = 0. n = 34	987	+ 0.10	9 C	)	
変更	4.0	11 – 32	•	0			
変更後(内検	3.0			J			
検	2.0	{	3				
	1.0	00					
	0.0		1	1			
	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0
			変更	前(委詞	託先)	(с	ut off index)

		変	合計		
		陽性	判定保留	陰性	
赤へ	陽性	4	1	1	6
変更後	判定保留	0	0	1	1
俊	陰性	0	0	27	27
合計		4	1	29	34

判定基準	
陽性	1. 00以上
判定保留	0. 80~0. 99
陰性	0.80未満

#### ▼ 現法と新法の比較

〔4743:HCV群別〕

			合計			
		Group1	Group2	判定保留	判定不能	
Ĉ	Group1	52	0	0	1	53
L 新 E	Group2	0	36	2	0	38
法 I A	判定保留	0	0	2	0	2
法	判定不能	0	1	0	23	24
合計		52	37	4	24	117

※ 判定の乖離した4例をHCV Genotype RT-PCRにより解析しました。 結果、2例は新法の結果と一致し、残り2例は抗体価がカットオフ値近辺により判定が乖離したものと考えられます。

#### ▼ 検査方法参考文献

長谷川 瞳,他:医学と薬学 70(3):633~641,2013